

質問回答

2017年3月27日

「案件名: アルバニア国ティラナ・ドゥレス地域デジタル地図作成能力向上プロジェクト」

(公示日: 2017年3月15日 / 公示番号: 170049) について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	17頁 6. 業務の内容 (12)	Geopotal へのデータ搭載は、本業務のスコープ外という認識で良いでしょうか。	その認識で間違いありません。ただし、成果品として提出する地形図データについては、Geopotal に搭載可能なデータとすることとし、そのために必要となる ASIG とのデータ仕様協議は、本業務のスコープ内とします。
2	15頁(4) 図式、作業基準・仕様協議	「仕様(図式、地図記号、注釈等)、作業についてASIG と協議し、同意を得る。内容はインセプション・レポートに反映し、関係者間で合意し、共有する。」とありますが、過去の同様案件においては仕様の協議については幾度となくC/P と協議した上で決定する必要があるため、時間を要する事項と認識しています。そのため、インセプション・レポートに反映することが困難である場合はインテリム・レポートに反映するという事で問題ないでしょうか。	極力インセプション・レポート時に反映することとしますが、間に合わない場合はインテリム・レポートに反映でも構いません。
3	P 16 ~ 17 (9) 国別研修の実施	インテリム・レポート(プロジェクト開始後13ヶ月)前までに2回の本邦研修を実施すると読み取れるのですが、現地における技術移転計画を踏まえインテリム・レポートの時期を挟んでの本邦研修が好ましいと判断された場合、提案	本邦研修については、早期実施が望ましいと考えますが、現地における技術移転の進捗、アルバニア側研修参加予定者のスケジュールが合わない等で、インテリム・レポート後に実施することが望ましいと判断された場合は、提案頂くことは

		することは可能でしょうか。	可能です。
4	P 2 0 2) デジタルデータファイル 仕様書	ここで述べられている仕様書とはどのようなものを想定されているのでしょうか。	1の質問に関係しますが、今回のデジタル地形図データは、Geopotal に搭載することもあり、ASIG が Geopotal にデータを掲載するにあたって必要な技術情報(データ形式、含まれる属性データ、等)を想定しています。P17にある、6.業務の内容の(12)(13)で記載のある内容となります。

以上